

2009

広報

# おばま 10

## 《表紙》

国富保育園では、伝統文化とふれあい、茶道を通じて礼儀作法を身に付けようと毎月1回お茶会を開催しています。この日も年長組16人がお手前を披露。作法どおりにお茶をいただき、最後に「結構なお点前でした」と静かな時間を過ごしました。

(9月4日)

【特集】平成20年度 決算報告

# 5年間を比較！ グラフで見る 平成20年度

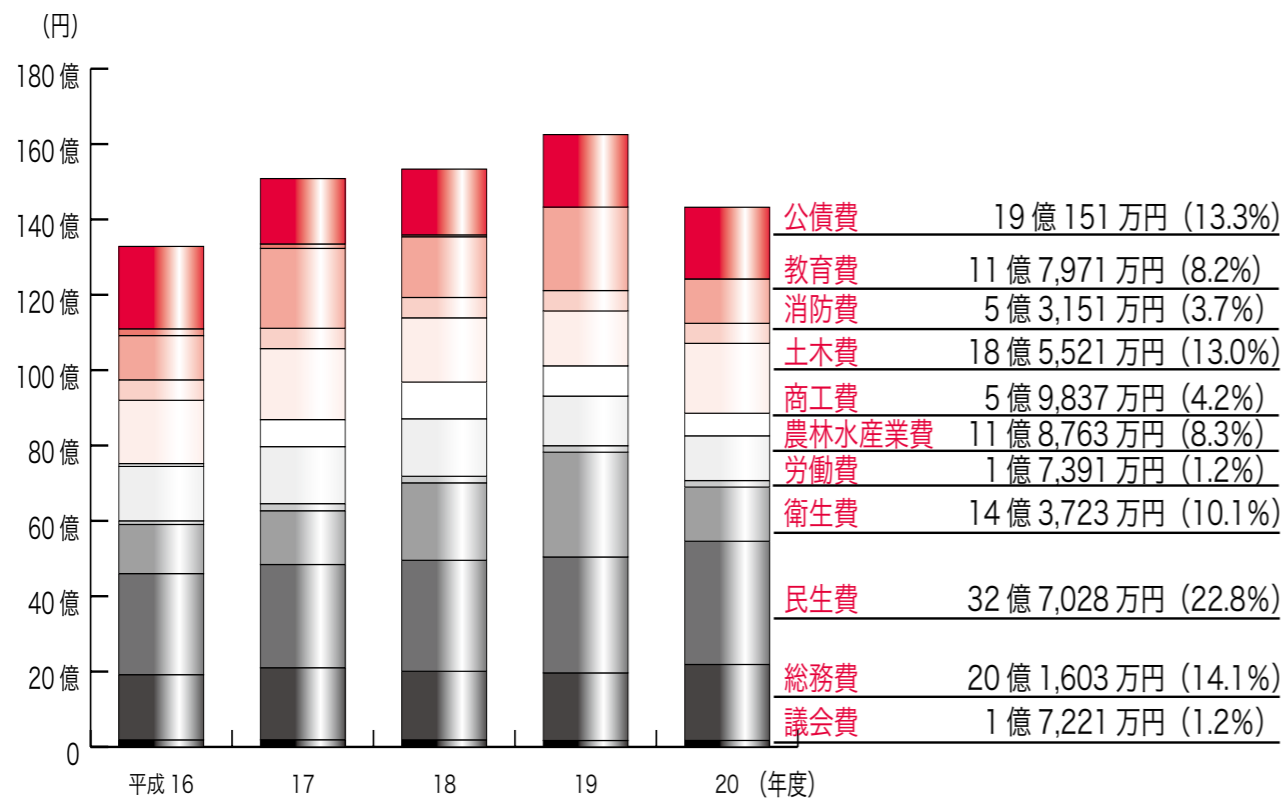
平成20年度は「リサイクルプラザ」「小浜小学校」などの大型建設事業が完了したため、同19年度と比較して歳入総額は19億5,511万円減少し、歳出総額も19億2,822万円減少しました。歳入総額から歳出総額を差し引いた4億7,178万円は繰り越しました。

# 決算報告

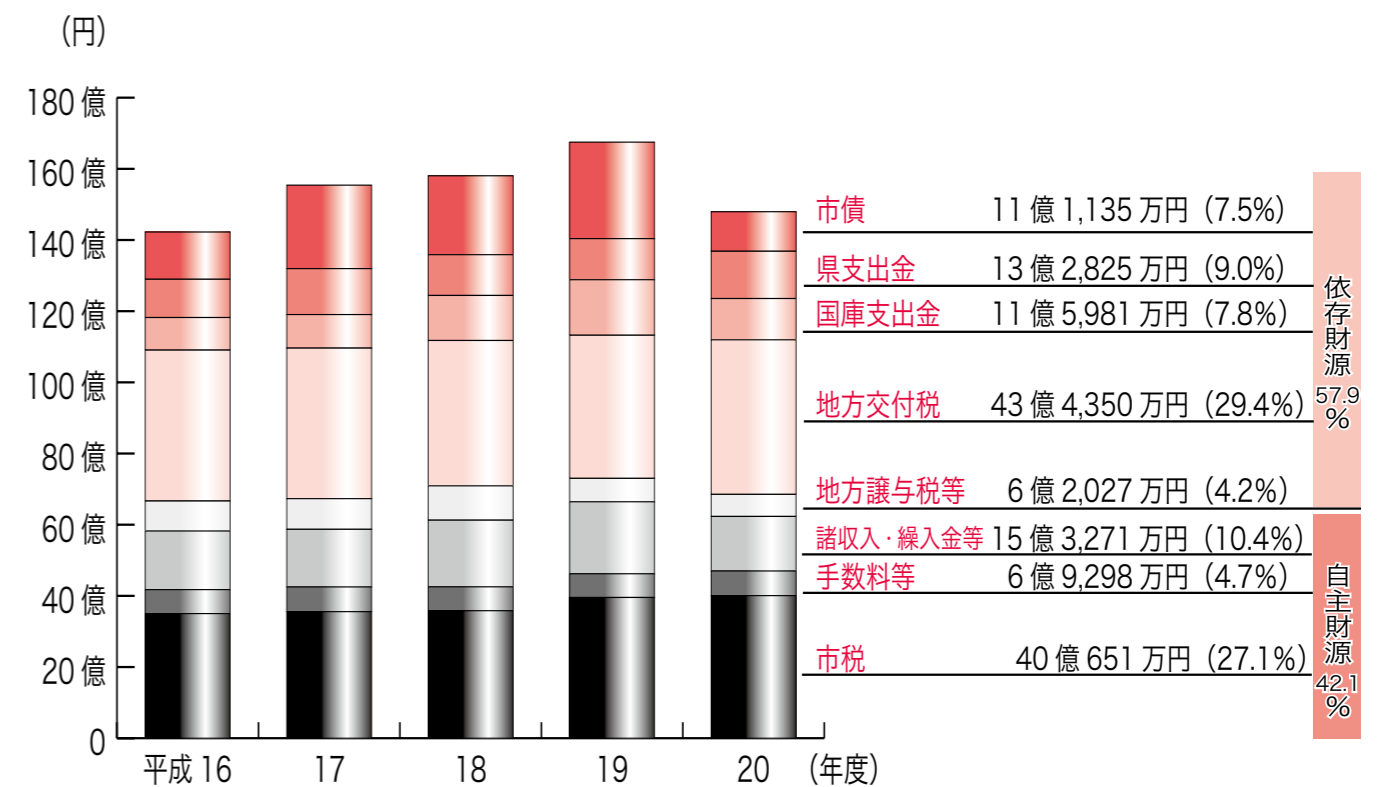
平成20年度の決算がまとまりました。小浜市の財政状況が、5年前からどのように変わってきているのか、グラフを使ってお知らせします。

■問い合わせ 財政課 ☎内線 333

## 一般会計「歳出」 143億2,360万円



## 一般会計「歳入」 147億9,538万円



### 《主なもの》

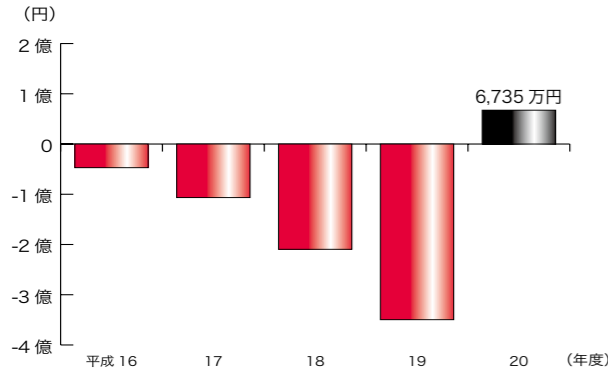
- ◆民生費  
障害・老人・児童福祉などに使うお金です
- ◆教育費  
小浜小学校建設のため平成17年度から増加していましたが、同16年度程度の水準となりました
- ◆衛生費  
病気予防やごみ処理などに使うお金です。リサイクルプラザ建設などが完了したため、平成19年度より約13億4千万円減少しました
- ◆公債費  
市債（借入金）の返済に使うお金です

### 《主なもの》

- ◆市税  
皆さんに納めていただいている市民税、固定資産税、都市計画税など
- ◆地方譲与税  
国税の一部が一定の基準で譲与されたもの
- ◆地方交付税  
財政力に応じて国から交付されるもの。平成19年度より3億2,192万円増加しました
- ◆国庫支出金  
市が行う事業に対し、用途を限定して国から交付されるもの
- ◆諸収入・繰入金等  
繰入金や受託事業収入、雑入、基金の取り崩しなど
- ◆市債  
借入金のこと

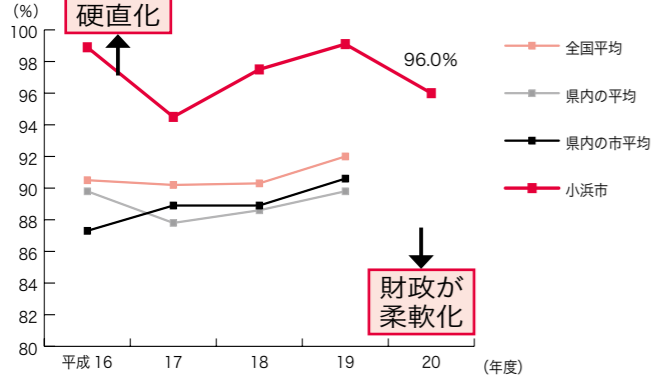
一般会計は、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」の建設が完了したため、前年度決算規模と比べて約12%縮小しました。三位一体の改革以降、減少していた地方交付税が約8%増加しましたが、大型プロジェクトにかかる借入金の返済が本年度から本格的に始まることから、今後も「行政のスリム化」「支出のダイエット」に取り組んでいきます

## 実質単年度収支



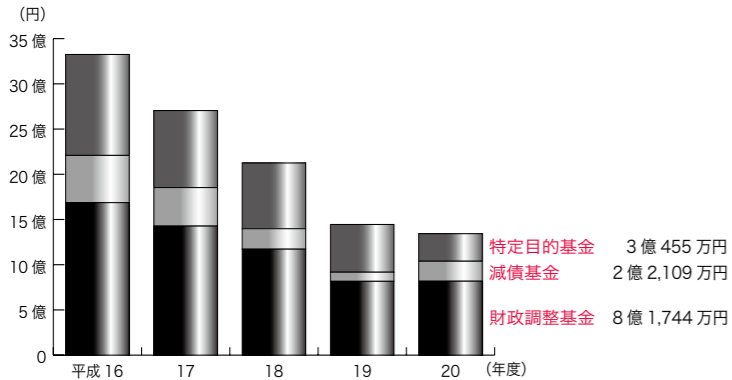
実質単年度収支＝実質収支－前年度実質収支＋基金の積み立てなど－基金の取り崩しなど  
 純粋な単年度だけの収支状況を表したもので、財政調整基金の取り崩しは、マイナスに働きます。平成16年度以降、4年連続で赤字でしたが、大型建設事業が同19年度で終了したこと、人件費や物件費などの抑制で財政調整基金を取り崩さなかったことから黒字になりました。

## 経常収支比率



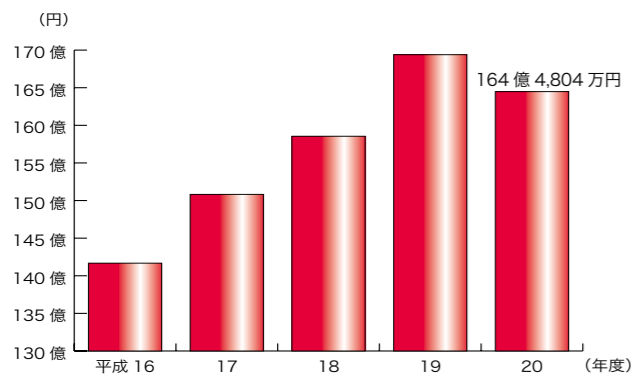
経常収支比率＝ $\frac{\text{経常的に支出される経費}}{\text{経常的に収入する金額}}$   
 家計に例えると、住居費、光熱水費など毎月確実に支出される経費が、給料のどのくらいを占めるかを表します。数値が低いほど自由に使えるお金が多くなります。  
 平成16年度が高い原因は、借入金の一括償還によるものです。また、同19年度に高くなった原因の1つは、国の算定基準の見直しによるものです。

## 市有財産（貯金残高）



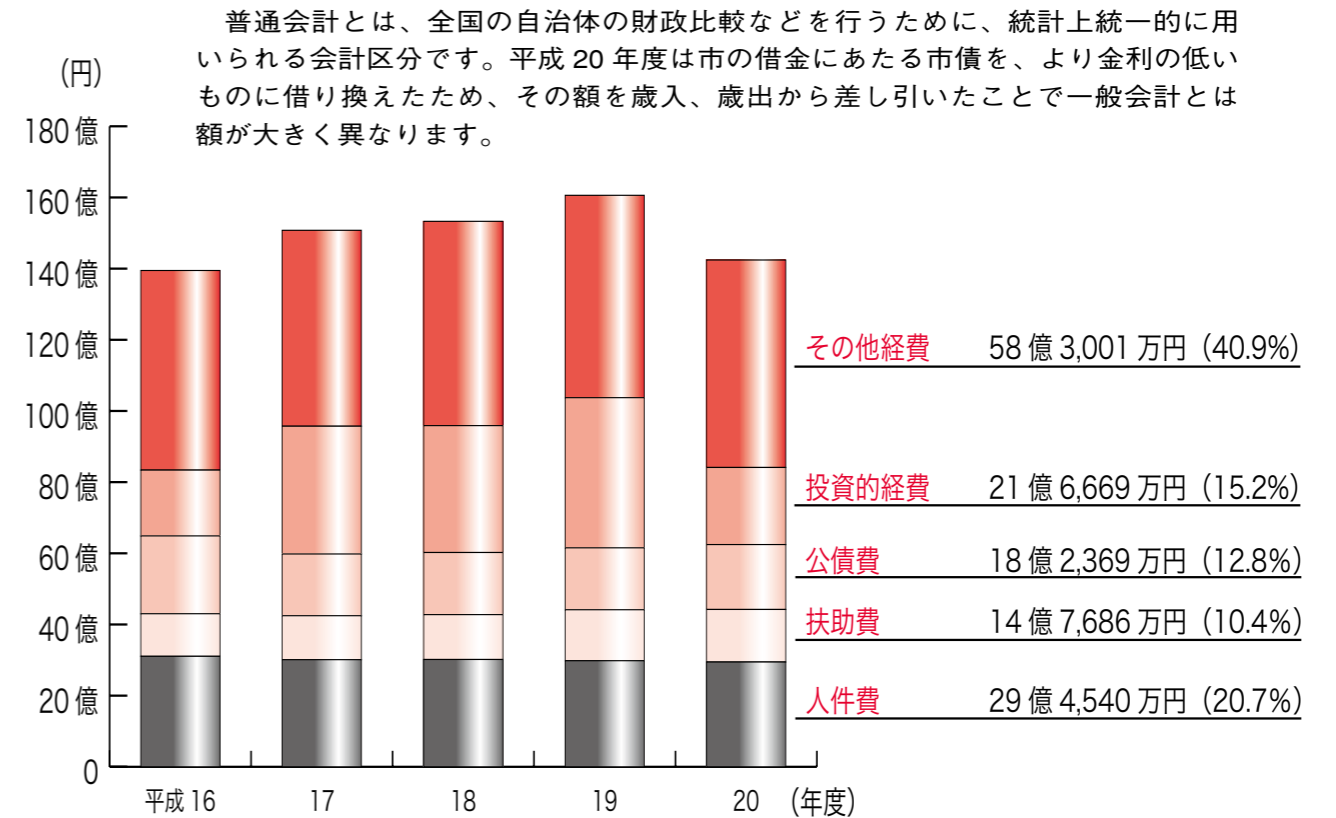
【特定目的基金】  
 使い道がしっかり決まった貯金  
 【減債基金】  
 借入金返済のための貯金  
 【財政調整基金】  
 使い道が決まっていない貯金  
 平成16年度から「リサイクルプラザ」や「小浜小学校」の建設に着手したため減少しました。

## 借入金残高（普通会計）



平成17～19年度に増加した原因は、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」の建設費として約31億5千万円を借り入れたためです。  
 中期財政計画で新たな借金を抑制していく方針であり、今後減少していく予定です。

## 性質別歳出「普通会計」 142億4,265万円



### ◆その他経費

後期高齢者医療制度の本格稼働や下水道事業特別会計の借入金にかかる繰出金と今後の公債費増加に備えて積み立てを行ったため、平成19年度より約1億4千万円増加しました

### ◆投資的経費

道路や施設の建設費です。平成17年度以降「リサイクルプラザ」「小浜小学校」などの建設のため増加しましたが、事業が完了したため元の水準に戻りました

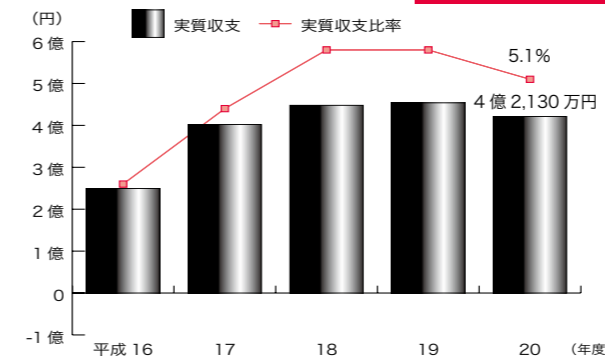
### ◆その他経費の内訳

物件費、維持補修費、補助費等、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金

### ◆公債費・扶助費・人件費（義務的経費）

平成19年度と比べ、人件費が1.2%減少、扶助費（社会保障制度）が3.1%増加、公債費（借入金の償還）が4.8%増加し、全体で1.5%、約9千万円増加しました

## 実質収支と実質収支比率



実質収支＝歳入－歳出－翌年度に繰り越すべき財源  
 実質収支比率＝ $\frac{\text{実質収支}}{\text{標準財政規模}}$   
 平成21年度から、実質収支比率が一定以上の赤字になると、国などが関与して財政の健全化を行うこととなります。  
 小浜市は現在、黒字が続いています。

# 健全化判断比率で小浜市の財政状況を見る

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定された財政指標について次のとおり公表します。小浜市では、いずれの指標とも早期健全化基準以下であり、健全（安全）な財政状況です。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小浜市の比率	—	—	13.9	145.4
早期健全化基準	13.67	18.67	25.0	350.0

※実質赤字比率と連結実質赤字比率については、実質赤字額と連結実質赤字額がないため算定されません

※早期健全化基準を超えると、財政健全化団体となり財政健全化計画の策定が義務づけられます

## 実質赤字比率

一般会計の赤字額の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示すものです。この比率が高くなるほど、歳入確保と歳出削減の対応策が必要となります。

小浜市では実質赤字額がないため算定されません。

## 実質公債費比率

市の借入金返済額と一部事務組合（消防や病院など）に対して市が負担すべき経費を、市税と地方交付税などの合算額と比較して指標化し、その資金繰りの危険度を示すものです。

小浜市は、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」建設にかかる借入金の返済が始まり公債費が増加するため、今後1～2年は徐々に高くなると考えられます。

## 連結実質赤字比率

一般会計だけではなく、特別会計と企業会計も合算した額で赤字額の程度を指標化して市の財政状況を示すものです。

小浜市では連結実質赤字額がないため算定されません。

## 将来負担比率

市の一般会計の借入金（地方債）や将来支払わなければならない可能性のある負担などを、現時点の残高で指標化し、将来、その負担額が市の財政運営を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

小浜市は、借金の残高が減少していくことから徐々に改善されると考えられます。しかし、本市以外の組合や第三セクターの経営状況にも左右されるため、その動向にも注視していきます。

## 資金不足比率

「資金不足比率」とは、公営企業の資金不足を、料金収入などの規模で示される事業規模と比較して指標化し、各公営企業会計の経営状況の深刻度を示すものです。

この比率が高くなるほど料金収入などで資金不足額を解消することが困難になり、当該公営企業としては経営状況に問題があることとなります。

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
国民宿舎事業会計	—	20.0
簡易水道事業特別会計	—	20.0
下水道事業特別会計	—	20.0
農業集落排水事業特別会計	—	20.0
漁業集落環境整備事業特別会計	—	20.0

※資金不足比率については、資金不足額がないため算定されません

※詳しくは小浜市公式ホームページをご覧ください

## 特別会計

会計名	歳入額	歳出額
国民健康保険事業特別会計	32億7,295万円	31億2,402万円
加斗財産区運営事業特別会計	4万円	3万円
簡易水道事業特別会計	1億63万円	9,861万円
駐車場事業特別会計	3,566万円	3,244万円
老人医療特別会計	3億2,477万円	3億372万円
下水道事業特別会計	36億9,487万円	36億4,203万円
農業集落排水事業特別会計	5億2,203万円	5億1,393万円
漁業集落環境整備事業特別会計	7,741万円	7,490万円
介護保険事業特別会計	27億1,097万円	26億8,056万円
後期高齢者医療特別会計	3億3,689万円	3億3,520万円

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計とは区別して経理を行う会計です。特別会計では、使用料や保険料などの収入が主な財源になります。

## 企業会計

企業会計とは、民間企業と同じように事業で得る収益で運営する独立採算型の会計です。

### 《水道事業》

損益計算書

営業費用	3億2,076万円	営業収益	3億9,286万円
営業外費用	7,673万円	営業外収益	544万円
当年度純利益	81万円		
計	3億9,830万円	計	3億9,830万円

貸借対照表

流動資産	4億1,972万円	流動負債	4,939万円
固定資産	66億2,715万円	資本金	35億8,098万円
		剰余金	34億1,650万円
計	70億4,687万円	計	70億4,687万円

### 《国民宿舎事業》

損益計算書

営業費用	8,931万円	営業収益	8,523万円
当年度純損失	300万円	営業外収益	108万円
計	8,631万円	計	8,631万円

貸借対照表

流動資産	7,143万円	流動負債	475万円
固定資産	8,628万円	資本金	1億2,982万円
		剰余金	2,314万円
計	1億5,771万円	計	1億5,771万円

## 小浜市土地開発公社

損益計算書

事業原価	1億7,803万円	事業収益	1億1,776万円
販売費・一般管理費	29万円	事業外収益	460万円
事業外費用	762万円		
当期純損失	6,358万円		
計	1億2,236万円	計	1億2,236万円

貸借対照表

流動資産	12億8,150万円	流動負債	2億29万円
固定資産	11万円	固定負債	9億4,835万円
		資本金	400万円
		準備金	1億2,897万円
計	12億8,161万円	計	12億8,161万円

## 第3セクター

### 《(株) ケーブルテレビ若狭小浜》

損益計算書

営業費用	3億1,699万円	営業収益	3億9,801万円
営業外費用	381万円	営業外収益	508万円
特別損失	9万円	特別利益	6万円
法人税等	3,190万円		
当期純利益	5,036万円		
計	4億315万円	計	4億315万円

貸借対照表

流動資産	1億9,065万円	流動負債	2,081万円
固定資産	1億8,435万円	固定負債	1億5,091万円
繰延資産	106万円	資本金	4,000万円
		剰余金	1億6,434万円
計	3億7,606万円	計	3億7,606万円

### 《(株) 小浜市総合卸売市場》

損益計算書

営業費用	1,668万円	営業収益	2,000万円
営業外費用	1万円	営業外収益	42万円
法人税等	118万円		
当期純利益	255万円		
計	2,042万円	計	2,042万円

貸借対照表

流動資産	1,950万円	流動負債	4,237万円
固定資産	1億7,136万円	固定負債	895万円
		資本金	8,000万円
		利益剰余金	5,954万円
計	1億9,086万円	計	1億9,086万円